

(様式1-2)新規評価シート

建設部 河川課

事業名		河川		路河川名等		(一)更級川				
事業毎の通番		1	市町村名	千曲市		箇所名(ふりがな)		上町(かみまち)		
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-2 ① 災害に強い県づくりの推進			SDGsの関連目標					
	関連する計画や重点施策	一級河川信濃川水系長野圏域河川整備計画(令和7年1月15日策定)			関連する事業プロジェクト		信濃川水系流域治水プロジェクト			
	現状と課題	対象区間(宮川合流点上流～斉森橋下流)は天井川かつ流下能力が著しく低下し、氾濫リスクが非常に高い。右岸には住宅地が広がり、堤防決壊時には甚大な被害が懸念される。令和6年9月にも既設護岸からの漏水による浸水が確認されている。地元からも改修の要望が継続しており、地域の安全確保が急務である。								
	事業目的	本事業は、氾濫リスクの高い宮川合流点上流～斉森橋下流で河川改修を行い、家屋の浸水被害を防ぎ、住民の生命と財産を守ることを目的とする。計画高水流量25m³/s(治水安全度1/30)を確保し、家屋等への浸水被害を防止する。								
事業概要	着手年度	2026年度(令和8年度)		事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完了年度(予定)	2030年度(令和12年度)					国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容	・河川改修 L=約300m(護岸工、落差工)				500,000	250,000	—	225,000	25,000
	位置図	平面図		状況図						
	更級川 天井川区間		令和6年9月既設護岸背面からの漏水							
	事業効果	主な受益対象	周辺家屋105戸 対象農地4.5ha							
		期待される効果	【直接効果】周辺家屋105戸および国道18号の浸水解消など 【間接効果】流域沿川住民の生命・財産の安全を確保					費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	29.8	
		人口減少を踏まえた将来の活用見込み	本事業により浸水リスクが低減されることで、住宅地や農地の継続的な活用が可能となり、地域の持続的な発展と将来にわたる土地の有効活用が期待される。							
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	・当該区間の河川改修事業について八幡区から市を経由して毎年要望されている。								
	事業説明等の経緯	・令和3年7月に上町区民を対象とした河川改修計画説明会を実施。 ・令和4年1月に用地境界立ち合いを実施。用地買収について地元合意済み。								
評価結果	所管課の意見	更級川は一部区間で天井川となっており、流下能力が不足していることから、早期の整備が必要であり、事業着手が妥当と判断する。					妥当性評価 ※	優先度評価 ※		
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。					○	3.7		
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)